

● 現在の経営状況*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 21.2 p	△ 36.8 p ↓
不動産流通業（住宅地）	△ 36.1 p	△ 19.4 p ↓
ビル賃貸業	10.5 p	△ 21.5 p ↓

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 50.0 p	△ 48.4 p ↓
不動産流通業（住宅地）	△ 65.7 p	△ 54.3 p ↓
ビル賃貸業	△ 50.0 p	△ 42.0 p ↓

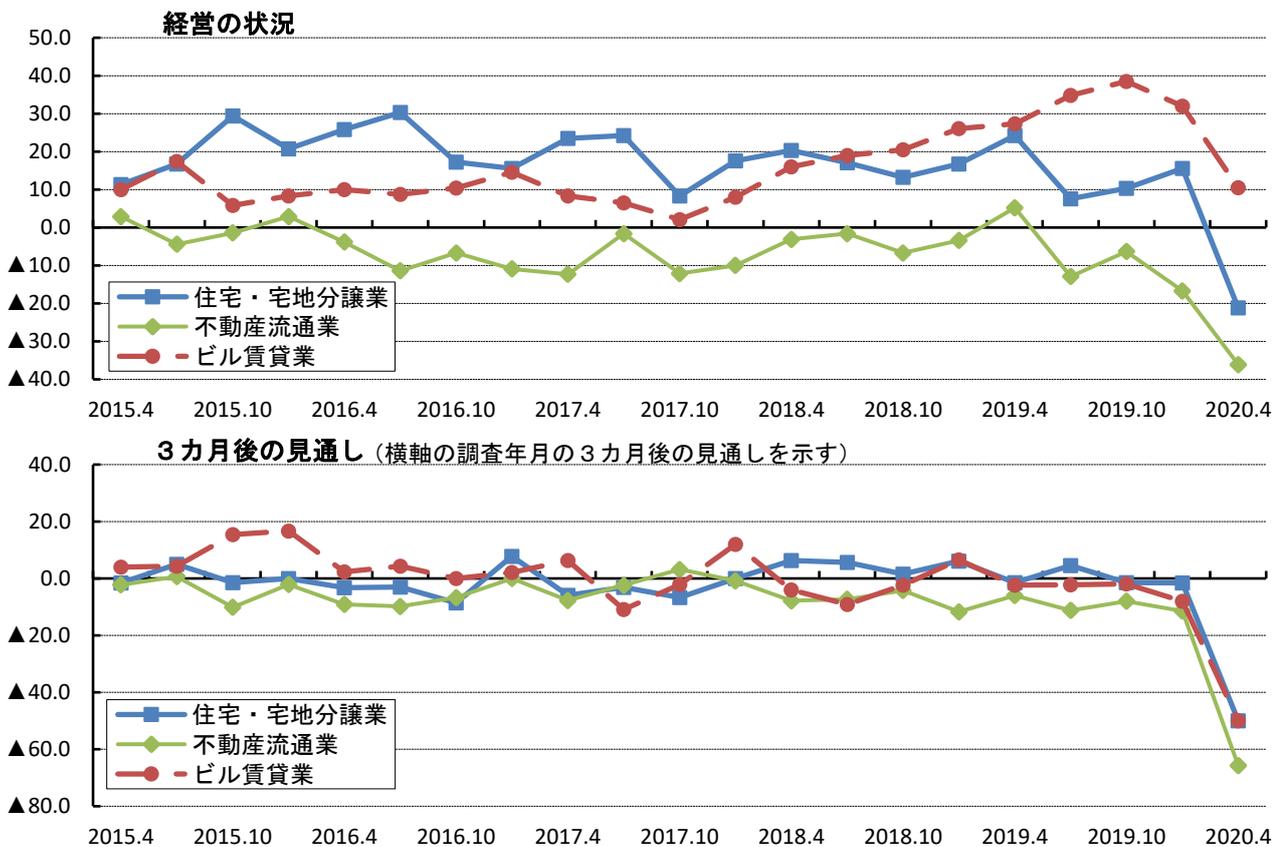
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 36.8p 悪化し ▲21.2p。29期ぶりのマイナス水準。
 不動産流通業は前回から 19.4p 悪化し ▲36.1p。4期連続のマイナス水準。
 ビル賃貸業は前回から 21.5p 悪化し 10.5p。24期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業およびビル賃貸業でいずれも悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$
 （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第92号「不動産業業況等調査」